

## C.J. 先生、ありがとう。「またね」

### ALTとして3年間勤務

C. Jの愛称で親しまれてきたミランダ サラジェイン ハルンシヨ 先生が、3年間の任期を終えて、8月8日から滋賀県の中学校に赴任することになり、離任のあいさつをされました。

自国フィリピンから本校に赴任してきたのは今からちょうど3年前の8月のことでした。本校では ALT (外国語指導助手) として英語の授業の助手を担当していただき、生徒は本場の英語に触れるという貴重な体験ができました。

お別れのあいさつに立った先生は、語りきれない3年間の思い出を動画で作成して紹介し、別れを惜しんで「さよなら」ではなく「またね」と締めくくりました。

ミランダ先生、3年間本当にありがとうございました。



### C. J先生のお別れのあいさつ(全文)

皆さん、おはようございます。

長澤先生、堤先生、そして川村(秀策)先生と一緒に授業ができましたことを私は光栄に思っています。私を先生方の授業に参加させてもらえたことに感謝しています。また、校長先生をはじめ、教頭先生、そして野西の全てのスタッフの方々、いつも私を理解し忍耐強く対応してくれてありがとうございました。

私は世界的にも最も雪の多いところに来ましたが、私が今まで訪れた所で、最も温かい人々に会うことができました。3年間で友達ができただけでなく、町内には私を家族同様に迎えてくれる家庭も何軒かできました。野辺地町という地域全体の人々が私に与えてくれた「おもてなし」にまさるものはないと私は思っています。

野辺地町と野西で私の気に入りを選ぶことは難しいです。なぜなら、皆さんが私にたくさんのお言葉をくれたからです。日本語でうまく表現できなくてごめんなさい。だから動画を作りました。私の感謝の気持ちを感じてもらえれば幸いです。念のために言いますが、それは決して「さようなら」ではありません。「またね」です。